

もしもの災害に備えてください 避難方法の確認と 持ち出し品の準備を

問い合わせ先 防災安全課 (☎321-1352)

市は、災害発生の恐れがあるときに、早めに避難所を開設し、避難を呼びかけます。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、避難所の数を増やして避難者の密集を防ぐ対策なども行います。皆さん一人一人がハザードマップ(災害時の被害予測地図)を参考に、避難先や避難経路を確認し、非常時の持ち出し品を準備してください。ハザードマップは、市役所7階防災安全課などで配布しています。市ホームページ(右記)でも見られます。



↑切り取ってご利用ください
キリトリ線

災害時に、自力で避難できない人は
電話してください

高崎市の災害専用電話
☎027-321-5000

ハザードマップで自宅周辺の危険度を確認し、避難方法を検討してください

在宅避難

危険がなければ自宅にとどまる



分散避難

安全な親戚や知人の家などに避難する



避難所などへの避難

避難所までの経路を確認しておく



キリトリ線

非常持ち出し品一覧

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液、体温計なども用意してください

非常食

- 飲料水
- 非常食・保存食



貴重品

- 現金
- 通帳・印鑑
- 保険証・運転免許証・マイナンバーカード
- 家族や知人の連絡先



衣料品

- 雨具
- 防寒具・毛布
- 着替え・下着・靴下
- 運動靴・室内履き



生活用品

- 筆記用具
- 携帯電話・スマートフォン、充電器
- タオル
- ポリ袋
- はさみ・ナイフ
- 使い捨てカイロ
- ヘルメット・帽子
- 笛・ブザー
- 手袋
- 懐中電灯
- 電池
- 携帯ラジオ
- マッチ・ライター
- レジャーシート



衛生用品

- 救急用品セット
- 持病の薬・常備薬
- マスク・消毒液・体温計
- 携帯トイレ・簡易トイレ
- トイレットペーパー・ティッシュペーパー・ウエットティッシュ
- 歯ブラシ



その他

- 乳幼児用品
- 生理用品
- 介護用品
- 母子健康手帳
- 予備の眼鏡・コンタクトレンズ
- 弾性ストッキング※



※避難所などでのエコノミークラス症候群の予防に役立ちます

↑切り取ってご利用ください
キリトリ線



養豚場の防護柵を市職員が点検



豚舎の防鳥ネットの点検も実施



動力噴霧器を希望する農家に貸し出し

感染拡大を防ぐため養豚場の点検などを実施 豚熱の緊急防疫対策を行っています

9月26日に市内の養豚場で豚熱(CSF)が発生しました。これを受けて県は、同じ養豚場で飼育されている豚全頭の殺処分を行い、養豚場の消毒を実施。市は、市内全ての養豚施設を緊急点検した他、防疫対策のため、施設改修の実施や備品などの費用を補助しています。問い合わせは、農林課(☎321-1261)へ。



市ホームページ

市は、野生イノシシへの豚熱感染が確認された昨年10月から、感染防止対策を実施。野生動物の侵入を防ぐ防護柵の設置費用の一部などを、養豚農家に補助しています。今回の豚熱発生を受けて市は、市内全ての養豚場で、防護柵などの緊急点検を実施。防護服を着用した市職員が、損傷や小動物の入り込む隙間がないかなどを2人1組で入念に点検しました。

豚熱対策の備品購入や施設改修を実施

市は、点検の結果、防護柵や豚舎の隙間の改修、防鳥ネットの設置など、小動物や鳥の侵入を防止する対策を実施しています。また、場内を消毒する洗浄機など豚熱ウイルスの防疫対策のための備品購入や、今後実施する豚熱ワクチン接種のための費用も全額補助。その他、車両を消毒するための動力噴霧器を、希望する養豚農家に貸し出します。市内には20の養豚農家があり、約3万3000頭の豚が飼育されています。市は、養豚農家と協力しながら、豚熱の感染拡大を防ぐための対策を進めていきます。

豚熱(CSF)は人に感染しません

豚熱は、CSFウイルスによって起こる豚やイノシシの伝染病です。人に感染することはありません。ワクチンを適切に接種すれば、発症を防ぐことができます。接種した豚の肉を食べても、人の健康には影響ありません。また、感染した豚の肉が市場に出回ることはありません。本市では今後も、安心・安全な農畜産物の生産に取り組んでいきます。